

令和5年 2月24日
国立大学法人 岩手大学 理工学部
東北地方整備局 岩手河川国道事務所
岩手県 盛岡広域振興局 土木部
一般社団法人 岩手県建設業協会
一般社団法人 日本建設業連合会 東北支部

次世代を担う技術者を対象にした体験型現場見学会を開催 ～インフラDXの最新技術を学びます～

岩手河川国道事務所で整備を進めている、一般国道46号盛岡西バイパス事業の「西大橋」及び、岩手県で整備を進めている、都市計画道路盛岡駅本宮線の「杜の大橋」において、次世代を担う技術者を対象とした現場見学会を開催します。

現在の施工状況の確認や、今後本格的に始まる橋梁の架設状況などをDX技術※により現場で体験していただき、建設業に興味を持っていただくことを目的として実施するものです。今回は岩手大学理工学部の学生を対象に、現場にて最新技術に触れていただきます。なお、国土交通省と岩手県合同によるDX現場体験会は県内では初めてです。

※DX：デジタルトランスフォーメーション。ビッグデータとAIやIoTを始めとするデジタル技術を活用して、業務プロセスを改善してだけでなく、製品やサービス、ビジネスモデルそのものを変革する技術。建設業においては生産性の向上や品質確保、省人化、施工工程短縮など。

- 1 開催日： 令和5年2月28日（火）
西大橋 13:30～（第1班）、14:40～（第2班）
杜の大橋 13:30～（第2班）、14:40～（第1班）
※現場見学は、2班に分かれて交互に実施します。

2 場所： 別紙-1参照

3 開催概要

	一般国道46号 盛岡西BP	都市計画道路 盛岡駅本宮線
橋梁名	西大橋	杜の大橋
見学内容	<ul style="list-style-type: none">概要説明施工現場見学AR体験 タブレットを使用し、西大橋（上部工、下部工、地質等）の3次元モデル（AR）を現場で体験	<ul style="list-style-type: none">概要説明施工現場見学T-CIM/Bridge見学 橋梁架設CIMシステムを活用した橋梁工事管理の自動化・省力化等について見学

- 4 参加者： 岩手大学 理工学部 システム創成工学科3年生 60～70名程度
5 その他： 取材を希望される方は、事前に下記担当にご連絡ください。

<発表記者会：岩手県政記者クラブ、東北建設専門紙記者会>

【問い合わせ先】

<西大橋>

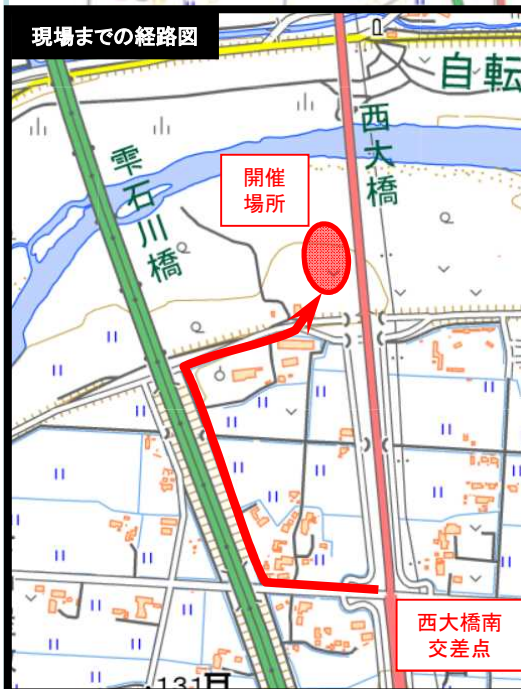
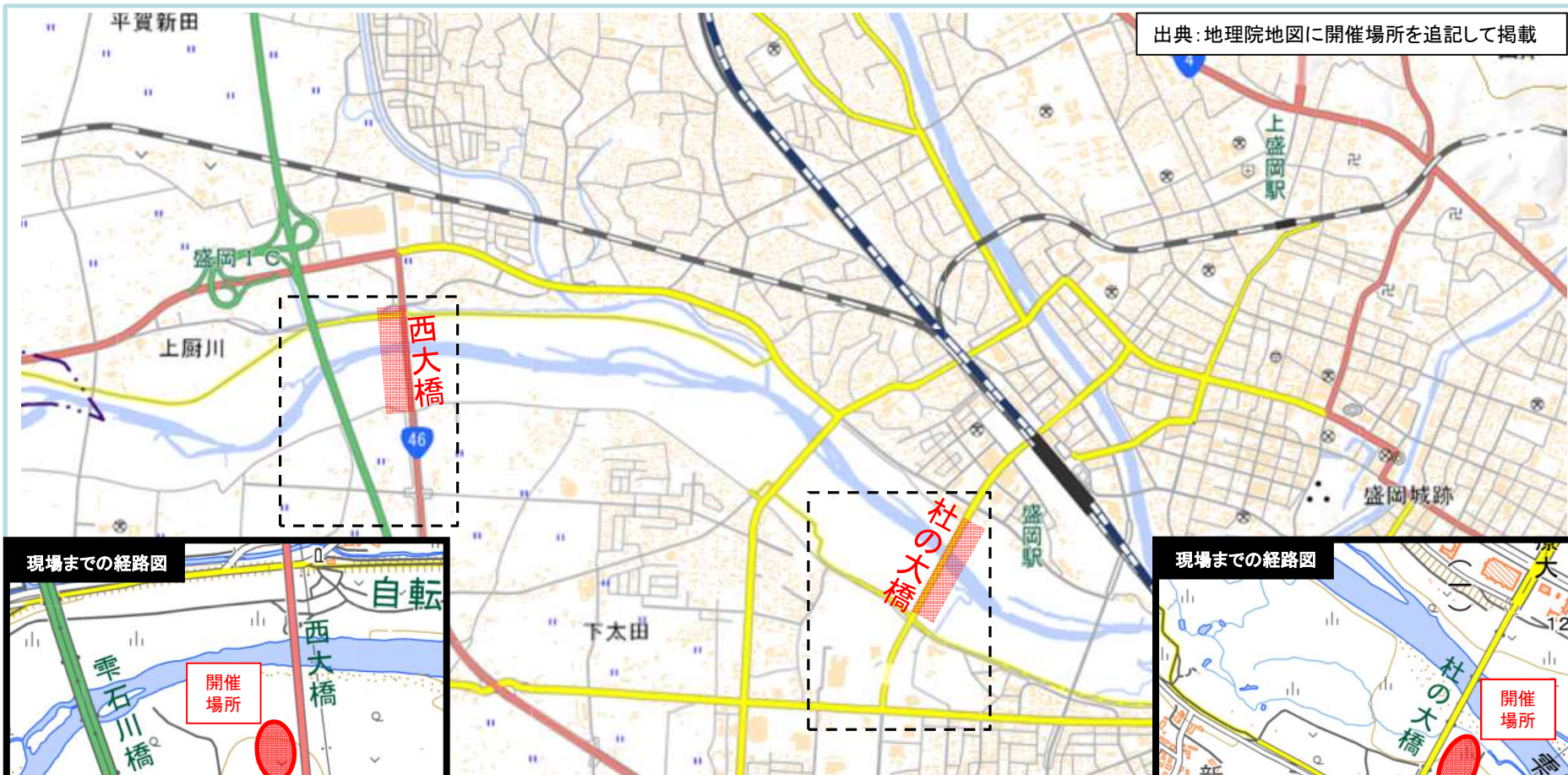
国土交通省 東北地方整備局 岩手河川国道事務所 TEL: 019-624-3131
副所長（道路） 高橋 朋昭
計画課長 松村 秀男（担当）

<杜の大橋>

岩手県 盛岡広域振興局 土木部 TEL: 019-629-6642
道路都市室長 千葉 信英
道路整備課長 山本 純一（担当）

〔別紙－1〕 現場見学の場所

出典：地理院地図に開催場所を追記して掲載



【西大橋】AR(拡張現実)技術体験の概要

- AR(拡張現実)は建設現場に映像を重ねて視覚的に表現し、多くのメリットをもたらします。
- 情報共有を可能にし、計画段階から関係者の議論を活発化させ、それぞれの意見を設計に反映し完成時の満足度を高めます。
- 施工中の安全確保や施工ミス防止、保守点検で早期の異常把握に役立ち、遠隔操作の導入や新人教育などにも幅広く利用できます。



<ARイメージ>



【杜の大橋】 T-CIM/Bridgeの概要

- ・T-CIM/Bridgeは、張出し架設工法の管理で必要となる以下の4つのシステムから構成されています。
- ・各システムで自動計測された各種データをクラウドに集約・解析し、一元管理することで、工事関係者間で現場での管理状況の見える化と共有化を行い、遠隔から端末機器やパソコンによる現場管理や施工状況確認・現場立会などを行う遠隔臨場が可能となります。
- ・このように施工管理の自動化・省力化を図ることで、施工品質、生産性および安全性を更に向上させることができます。

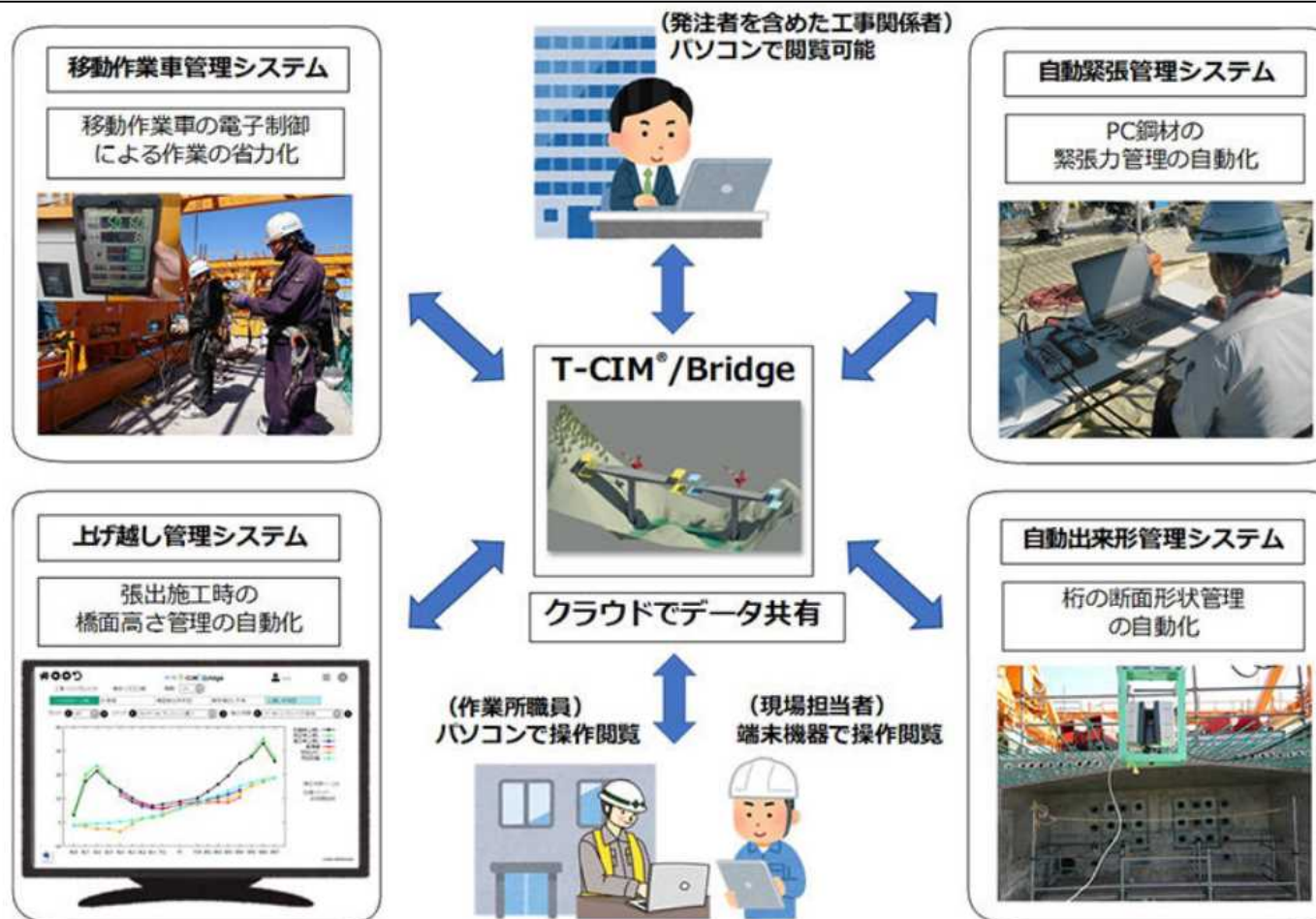


図1 T-CIM/Bridgeのシステム構成